

山行報告書

山行管理部

有志山行 会津駒ヶ岳・(平ヶ岳・越後駒ヶ岳) 7月21～25日

L 定井 (国)、計 12 名

7月21日 (火) : 森ノ宮 (7:00 発) → (阪神高速・京滋 BP・名神・北陸道・関越道)
→小出 IC →国道 352→檜枝岐 (17:20 着) (民宿:松源泊)

7月22日 (水) : 民宿 (松源) (4:00 発) →滝沢登山口 (4:32 発) … (6:25 着)
水場 (6:35 発) … (8:14 着) 駒の池・小屋 (8:30 発) … (8:47 着)
会津駒ヶ岳山頂 (8:55 発) … (9:28 着) 中門岳 (9:50 発) … (10:
32 着) 駒の池・小屋 (11:05 発) … (12:07 着) 水場 (12:25 発) … 13:
38 着) → (16:12 着) 銀山平温泉 (湖山荘泊)

7月23日 (水) : 雨の為平ヶ岳林道登山口行バス運行中止
バス不通の為登山中止、観光に変更 (国重文指定目黒邸、越後ゆきくら酒
蔵見学) →湖山荘 (連泊予定) をキャンセル→駒の湯山荘へ (14:05 着)

7月24日 (木) : 前夜からの大雨で越後駒ヶ岳山行中止 (前日に中止決定)・帰阪
(9:00 発) → (往路と同ルート) → (18:30 着) 森ノ宮

今回の有志山行は会報に掲載・公開した結果 13 名 (1 名キャンセル) の申し込みがあり、車三台での山行になった。長距離ドライブではあるが約 2 時間毎の運転交代で往復楽しいドライブであった。会津駒ヶ岳は天気にも恵まれ最高の登山であった。年齢、体力面を考慮し早朝より行動し、時間的に余裕のある山行ができた。平ヶ岳は 3 時過ぎには出発準備をして待機していたが、早朝からの雨で林道終点登山口行のバスが運行中止になり、やむを得ず山行中止を決定。朝食まで二度寝。天気予報では翌日も雨なので越後駒ヶ岳も早々に中止を決定し (結果大雨)、一日早く帰阪することにした。三山の予定で二山を中止したが、快晴の会津駒ヶ岳、中門岳だけでも十分楽しむ事ができた。また、有志山行の会報への事前公開が会員同士の親睦をより深めるきっかけとなれば幸いである。

(山口 記)

サロン 青春 18 きっぷで行く北陸シリーズ (越前三国) 7月22～23日

L 矢野 参加者 10 名

7月22日 (水) 晴れのち曇り

JR 大阪 7:45→敦賀経由→福井 10:47/12:12→JR 芦原温泉 12:29 着。京福バス 12:40→休暇村 13:11 着以後 18 時まで園内の天然芝のグランド・ゴルフ場で競技したり温泉にはゆったり自由時間を過ごす。夕食後 2 時間貸切のカラオケを楽しむ。

7月23日(木)曇り時々雨

休暇村 10:11(バス)→東尋坊 10:18 東尋坊散策。東尋坊(バス) 10:42→
三国町 11:30 三国湊町歴史散策。えちぜん鉄道三国駅前(バス) 12:30→
JR 芦原温泉 13:20 着/13:44→JR 敦賀 15:01/16:23→18:20JR 大阪着解散

毎年7月下旬青春18きっぷを利用しての旅行を今回は休暇村越前三国でゆっくり過ごしました。自然豊かな広大な園と眼下に日本海が見える部屋、夕食と朝食は海の幸を中心にととてもおいしかった。三国湊町は江戸時代北前船が寄港して栄え財をなした豪商が町を繁栄させたそうです。旧森田銀行本店の資料館、5月の祭りの山車館、旧家など見学。楽しい一泊二泊の旅が出来ました。検討課題は猛暑の7月下旬を避けて涼しくなる8月下旬から9月上旬に計画しては？

(青春18きっぷ利用は9月10日まで)了

(矢野 記)

例会山行 鳴川峠から千光寺 7月26日 L岩見 51名(うち一般1名)

近鉄鶴橋駅 8:25——瓢箪山駅 8:46-----六万寺谷 9:50-----

東大阪市立野外活動センター 10:45-----鳴川峠 11:30-----千光寺(昼食) 1:05---
清滝石仏群 1:20-----二本杉 1:45-----近鉄元山上口駅(解散) 2:02

晴天、高温多湿の一日で特に舗装道路での歩行はきつかった。水分補給をこまめに取りよう皆さんに指示しました。六万寺谷は岩場あり急登ありで適切なルートだったと思います。鳴川峠から千光寺までは、櫟(イチ)原川に沿って緩やかに下る木陰の道で、皆さん一息つかれたのではないかと思います。千光寺境内で昼食後、鳴川地区の綺麗な民家を眺め、清滝石仏群をつぶさに観賞して頂きたいと計画しましたが、リーダーが速く進んだため、ゆっくり観賞できなかつたかも知れません。申し訳ありませんでした。終着点の近鉄元山上口駅へは、谷あいの棚田を眺めながらの緩やかな下り道で、立派に実った農作物を見たり、谷あいの向こう側には沢山の振興住宅が眺めれたと思います。

今回の例会では、高温多湿の天気の中、熱中症を起こす人も無く無事故で終え、大変良かったと思います。その上、早めの山行ペースに合わせて下さり、早めに終了することができました。担当者の皆さまにもご協力をいただき、本当に有難うございました。
(岩見 記)

有志山行 聖岳 7月30~31日 L井 1名

7月30日 便ヶ島駐車場(6:20)曇り→苔平(10:13)→薊畑(11:40)→聖平小屋(12:35)

7月31日 聖平小屋(5:14)晴→薊畑(5:47)→聖岳(8:00)→薊畑(9:58)

→便ヶ島駐車場(14:32)

聖岳頂上では、北側に南アルプスの荒川・赤石・塩見・仙丈などの山々が望めま

した。又遠くには、北アルプスや中央アルプスがうっすらと望めました。南側は残念ながら雲。西沢渡の川渡りには、登りは木橋を使い、下りはロープウェイを利用しました。手袋なしで移動ロープを綱引きしたため、右手中指内側を少し一皮むきました。

〔ライチョウ目撃情報〕

7月31日 7:55 聖岳頂上直下 50m 南斜面で、ライチョウ成鳥♀1、亜成鳥（雛鳥と成鳥の中間くらいの大きさ）3（♂♀不明）計4羽の一群れを見ました。

（写真はなしです）

（井記）

夏山特別山行 秋田駒ヶ岳・岩木山 8月7～10日 L園(敏) 21名

[A班 10名]

8月7日(金)

20:50 森ノ宮駐輪場前を大型バスで出発、参加者21名

8日(土) 晴

9:10 秋田県アルパこまくさ駐車場着、ここで羽後交通のシャトルバスに乗換

9:43 八合目着、トイレ、体操して地元の案内人(?)がコースを説明しこまくさが咲いている所を教えてくれる

10:05 出発 A班10名、B班11名

10:45 片倉岳着

11:35 阿弥陀池着、軽く昼食を済ませて45分に出発

12:00 男女岳山頂着、見晴らし良好時々ガスが出るが記念撮影して下山

12:35 阿弥陀池分岐に戻り、避難小屋でトイレ済ませ出発

12:45 横岳着

12:52 焼森山着

案内人に聞いたこまくさの群生地を探しながらバスの時間も気にしながらひたすら歩くと突然視界が開けてこまくさが現れた

13:30 八合目着、何とかバスの出発時間に間に合った

14:00 アルパこまくさ着、大型バスに乗換、青森嶽温泉目指して出発

17:37 嶽温泉小島旅館着、古い昔の旅館で扇風機ありエアコンなし、共同洗面所に共同トイレ、温泉のお湯は乳白色で気持ち良い、食事は量がたっぷりでおおいかった

9日(日) 晴

- 8 : 0 0 小島旅館をバスで出発、今日はA班の3名が別コースで行動
- 8 : 0 5 岩木山神社着、神社にいた地元の案内人(?)が「山門の両端に登る
狛犬と下りる狛犬があるから、登山をする人は登る狛犬をなでて下り
てきたら下りている狛犬をなでなさい」と教えてくれたので皆でお参
り、狛犬をなでて出発
- 8 : 4 5 岩木山神社から神苑桜林へ、体操をして出発
- 9 : 3 0 カラスの休場着、樹林帯で視界なく風なく暑い
- 10 : 0 0 姥石着
- 11 : 2 5 焼止まり避難小屋着、ここで小休止、とにかく暑くてたまらん
- 11 : 3 5 小屋出発、岩がゴロゴロした坊主ころがしに入った
- 13 : 0 5 錫杖清水の水場着、おいしい冷たい水に皆生き返った、ここでB班
と合流、7名に減っている、4名下山とのこと
B班出発後、鳥ノ海で合流し下山をバスが迎えに来てくれると園さん
から連絡あり、一同ほっとする
- 14 : 0 0 鳳鳴ヒュッテ着、いよいよ頂上目指してヒュッテに荷物を置いて岩の
ガレ場をひたすら登る
- 14 : 4 0 岩木山頂上着、鐘を鳴らし岩木山神社にお参り、ガスで視界ゼロ
- 14 : 5 0 山頂出発、注意深く岩のガレ場を下りる
- 15 : 1 5 鳳鳴ヒュッテ着、全員でリフトの下を下山
- 16 : 0 0 岩木山八合目着、迎えのバスで津軽岩木スカイラインを下り旅館へ
- 16 : 4 5 小島旅館着

10日(月)晴

- 7 : 0 0 小島旅館出発
- 21 : 3 0 森ノ宮駐輪場前着、お疲れ様でした

(園(康) 記)

[B班 11名]

一日目(8/8) 八合目より歩き始める。大阪の暑さが嘘のようだ。さっそく高山植物が迎えてくれる。片倉展望台から阿弥陀池へ 霧がかかり幻想的だ。男女岳をピストンする。駒草の見える場所が有るとの事で横岳から焼森へと向かう。小さな駒草が少し見られる。それよりひたすら下山。道は狭く石や木の株で歩きにくい。八合目からバスで嶽温泉へ。長時間の夜行バスで疲れてる人もいたが、天気も良く一日目は無事に終わる。

二日目(8/9) 岩木山は新米リーダー サブリーダー共にリタイアしてしまい迷惑をおかけしました。多々反省しています。二日目岩木山は、暑さなどで四名のリタイ

ヤ（一名は付き添い）があり、7人のパーティで登る。初めはなだらかな登りから、避難小屋を過ぎると坊主ころがしの登山道は急登で、足元も岩があり厳しい。登りきった所に錫杖清水が流れていて、今までの疲れがいつぺんにとれる。鳳鳴ヒュッテにザックを置き山頂を目指す、目の前を山頂と勘違い。登った先に山頂があり、「えーっ」とため息が出る。暑さでほとんどの人がバテ気味だった。1625mとあまり高くないのに、登山道は厳しかった。

（木村（佐） 記）

有志山行 飯豊連峰 8月10日～13日 L乾 6名

8/10 弥平四郎登山口(10:05)～祓川山荘(10:45)～疣岩山(14:30)
～三国小屋(15:30)

8/11 三国小屋(5:00)～切合小屋(7:10)～本山小屋(9:30)～飯豊山(9:50)
～御西小屋 (11:30)～烏帽子岳(14:30)～梅花皮小屋(15:25)

8/12 梅花皮小屋(5:05)～北股岳(5:40)～門内岳(6:50)～地神山(7:50)
～頼母木小屋 (8:50)～鉾立峰(10:50)～杵差小屋(11:45)

8/13 杵差小屋(5:00)～前杵差岳(5:40)～千本峰(6:40)～カモス峰(8:00)
～林道終点(10:08)～公園口(11:20)

シュラフ、マット、食糧を担いでの縦走、無人小屋泊、何もかもが初めての経験で、ドキドキの山行スタート。初日は、東北の山とは思えないような暑さの、急登をひたすら上って、小屋に到着。小屋から眺める周囲の山々の景色は、ひととき疲れを忘れさせてくれる気持ちよさ。2日目は、飯豊山登頂を含め、行程中もっとも長丁場となる1日。岩場の通過も一瞬で終わり、みなさん物足りない様子。昨日よりはずっと涼しく、快適な稜線歩きが続く。3日目は、いくつもの山を上がったたり下りたりしながら、白、黄、紫、ピンクのお花畑の山道を歩く。飯豊リンドウらしき紫の花が、とても可憐で和む。最終の泊りとなる小屋前から、歩いてきた山々や通り過ぎた小屋の遠景を眺めて、よくここまで歩けたな～と感慨に耽る。最終日、少し雨が降る中、下山。カモス峰から林道までが、かなり急坂の下りで、疲れた足に厳しかった。

今回の山行、初日の夜に全く寝付けず、2日目からバテバテになって、みなさんにご迷惑を掛けてしまい、すみませんでした。山での体調管理の難しさと、睡眠導入剤の必要性など、いっぱい勉強になりました。360度山、山、山の雄大な景色の中を歩けたのは最高でした。リーダーの乾さん、ありがとうございました。

（森（よ） 記）

有志山行 八幡平、森吉山、暗門の滝、(岩木山) 8月11～15日 L上枝 2名

8月12日:八幡平駐車場 11:50 着、12:30……八幡平 14:00……駐車場 14:40

8月13日:森吉山駐車場 8:00 着 8:45……森吉山 10:00～10:30……駐車場 11:40

8月14日:十二湖駐車場 9:00……池とブナ林を周遊……駐車場 10:30

岩木山駐車場、13:00 着。頂上は真っ白と聞き中止。

8月15日:暗門の滝駐車場 8:30……第3滝……第2滝……第1滝…ブナ林

……駐車場 11:00

八幡平は池の水が綺麗で紫の花が一杯咲いていた。森吉山は花の山だけあってまだ沢山(ニッコギ`スガ`等)残っていた。頂上から東北の山々が綺麗に見えて幸運だった。十二湖と暗門の滝はブナ林の緑が綺麗で神秘的な世界でした。今回は駐車場に着いたら、晴れたり、雨が止んだりで傘も合羽も使わずに済んだ。

(上枝 記)

土曜山行 裏六甲白石谷 8月15日 L新熊 23名

有馬温泉 9:30→源泉広場 9:45→紅葉谷出合 10:45→白石滝 11:20→白龍滝 12:00

昼食 12:20→一軒茶屋 14:00→雨ヶ峠 15:00→風吹岩 16:10→高座の滝 17:00

連日猛暑の続く中、暑さ覚悟で臨みました。白石谷の沢歩きは涼しく、途中イワタバコの可憐な花も咲いていました。白龍滝を過ぎた辺りにある5メートル位のロープのある一枚岩では、ひとりずつの登りになるため思いのほか時間がかかりました。岩場・ロープ・渡渉の緊張感のあるコースでしたが全員無事通過でき、下山しました。

(新熊 記)

ターブルドート 赤目四十八滝 8月16日 L五十嵐 18名

青山町行急行 7:37 発=赤目口 8:36 バス赤目口 9:00 =赤目滝 9:10 着

赤目滝バス停 9:25 出発—日本サンショウウオセンター 9:30

—布曳滝 10:05 —百畳岩 10:30 —岩窟滝 11:30 (昼食) 11:55

出発—出合茶屋 12:30 —落合 13:40 着 (解散)

曇り空の天気の中、サンショウウオセンターを通る時津駒に行った時食べたてんぷらの中にサンショウウオがあったのを思い出し合掌。ゲートを通り最初の行者滝へ水の流れのせいか涼しく感じる。一筋の布をかけたような美しい布曳滝を見たり時間があったので比較的ゆっくりと滝を見ながら歩く。昼食の時雨が降ってきた

がすぐ止んだのでホッとした。岩窟滝を過ぎると人も少なくなり出合茶屋を通り落合へ早めの到着、無事事故もなく解散できた。暑い中18名も参加してくださり有難うございました。
(五十嵐 記)

教育部山行 白滝谷沢登り 8月16日 L高桑 4名
9:00 坊村 — 10:20 白滝谷入溪 — 14:30 夫婦滝
— 17:30 坊村 — 19:30 梅田

ほぼ毎年訪れている白滝谷ですが沢の水量は台風一過もあって危険を感じない中で過去最高でした。入溪直後にドボンと全身濡れるなど、いつもなら、濡れずに登れるところもシャワークライミングでモチベーションも上がったたり下がったりで沢を堪能。暑い、暑い、大阪の夏から、童心に戻り、寒さも感じるひと時に大満足でした。

(高桑 記)

有志山行報告 能郷白山&冠山 8月17~18日 L定井(国) 4名

絶対に公共交通機関を使っては行けない山を2つ選んで計画したが、何故か？夏の暑い晴天が続いているのにその日だけは日本国中大雨の様子。高速道から国道、県道へて長く細い林道を1時間以上もひたすら雨の中を登り続けて、ようやく1050mの冠峠到着。福井側へ抜けるだけしか出来ないと思ってきたが、“よかった”雨が止んでるぞ、12時10分標高差200mの冠山へいざ出発だ！山頂まであと5分の処でズックリ濡れたヤブ漕ぎの急登、周りは何にも見えない景観、ここで撤退決定。その夜土砂降りの音を聞きながら温泉に浸かって明日もダメかと考えていたが、朝起きてみるとウソみたいに晴天、又もや細かいクネクネ国道をひたすら走り温見峠へ、標高差600mの能郷白山頂上目指すがガイドブックにコースタイム2時間の急登とは書いていたがこれ程とは思はなかった。岩場以外にこれ程急な昇りを連続で登ったことがない。5分おきに小休止が必要になる。それでもコースタイムに休憩時間プラスに近い時間で登れた。頂上は360度展望の1等三角点、遠くの雲で白山は隠れているが、荒島、大長、赤兎山、そして昨日の冠山の烏帽子もハッキリ展望できた。下りも急な砂利で足を滑らしながら1時間半で峠へ到着し、又もや長く細い国道を岐阜県側に下り薄墨温泉で汗を流し帰路に着く。数年間持ち続けたリベンジを果たした2日間でした。
(定井(国) 記)